



月詠が蜂ヤクザに

黽められるっ

!

R18






銀時が仕事で  
天人のヤクザに  
恨みを買ったらしい

男が持って来たのは、  
その選択肢と  
捕まった万事屋の写真。

選択肢は無かった



言われるがまま、  
誰にも言わず、



月詠は吉原から  
遠くは慣れた  
宿屋に向かった

何をされるかなど  
初めから  
覚悟していた

そんな口約束が  
守られる保証はない

だが、他に手もない

そうして彼女は  
男に、身体を、差し出した











とんだ  
掘り出しもんだぜ  
アンタあ

はちん

はちん

はちん

このエロい尻と



はちん

はちん

デカくてエロい胸

たまんねえな

はちん

はちん





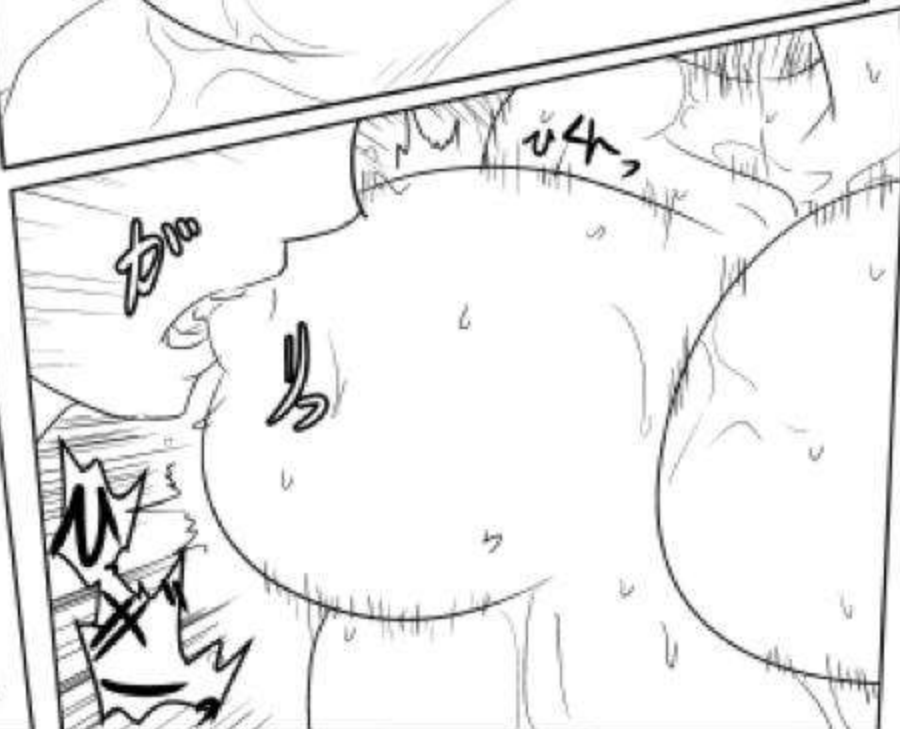




あーやって  
自分の匂い擦り込んで  
馴染ませよう

涎垂らして  
媚びうるの  
雌の軀の  
出来上がりや

あんな姉ちゃん、  
もう地球の男ん  
イチモツじゃ  
二度と満足出来へんで





気に入ったわ、この女

おい

あれ、出しい

くさく

はーはー

びく

びく





起きい  
姉ちゃん

起きい



終わった……のか

お姉さん



これか

おくん



ズルズル

レンタを  
又に入ったさかい、  
泊コースに変更や

ふざけるな！

話が違いんす！

落ち着きや

離しなんしつ！

まったく

ほれ

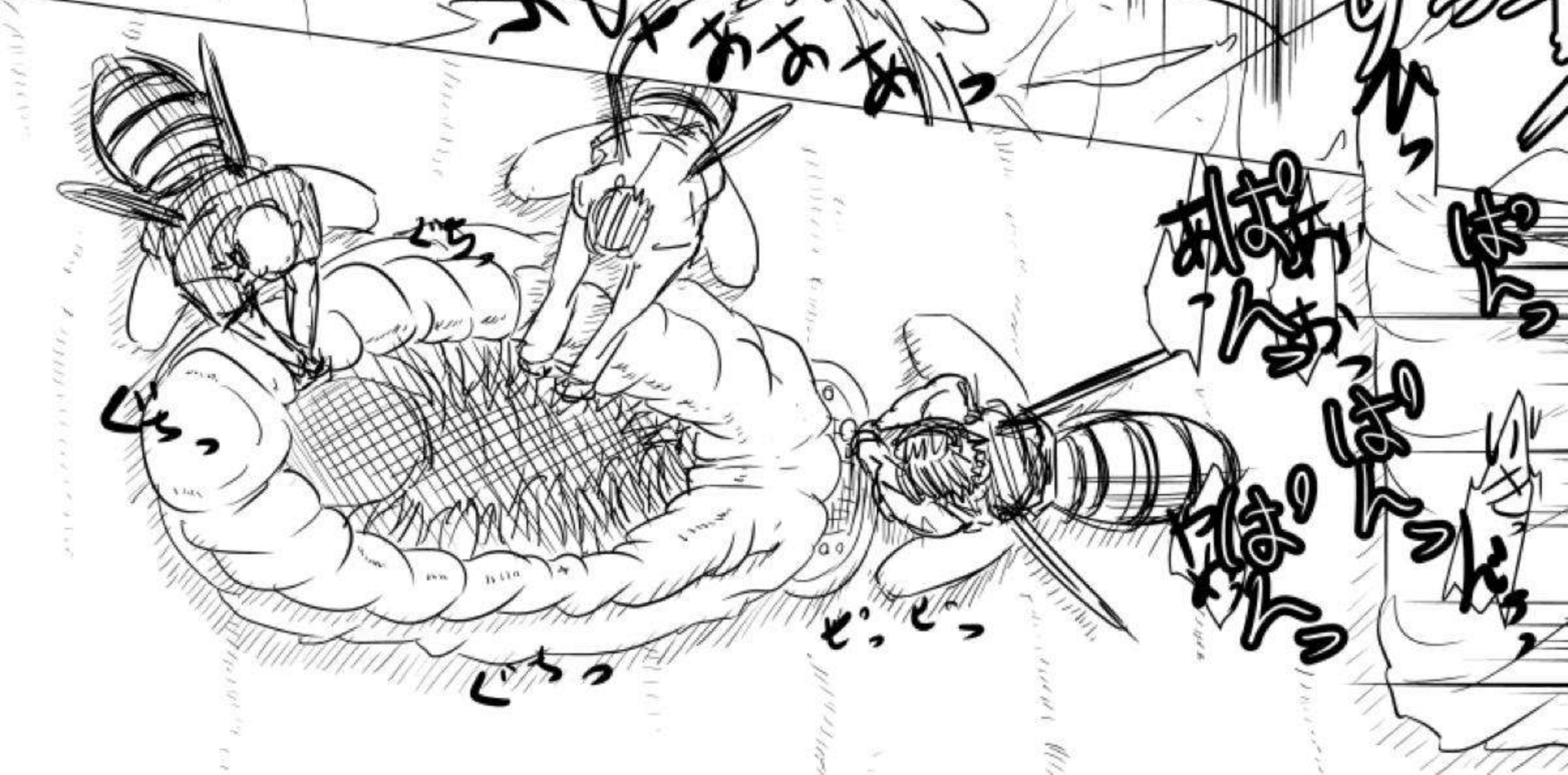
くひん？

万事屋の件、  
それでチャラや  
言うとるんやで

気張りって耐ええ

あ...あ







ほれ、見てみい

ワシらの愛の巢、  
「ロイヤル・セリ」  
「路胃屋流・勢裏」じゃ

あん中やと  
ワシらは絶倫に  
なる

朝までワシらを  
楽しませてくれる  
バイアグラって訳や

誰…が…

ぬしの…床なぞ…

おう

そそるで、  
その態度





ますます  
気合いが入るのう

万事屋ん事  
別にして、

楽しめるよう  
身体あ仕込んだるわ







栄養満点、  
媚薬タツプリの  
食事だぜ

ほら、あーん♡









どうや、一晩中媚薬を  
擦り込まれて淫乱に  
なった気分は？

それが女の身体やで



下衆が…！

わっちの身体を  
弄くり回して  
何が嬉しいんで  
ありんすか…

はーっ

はーっ

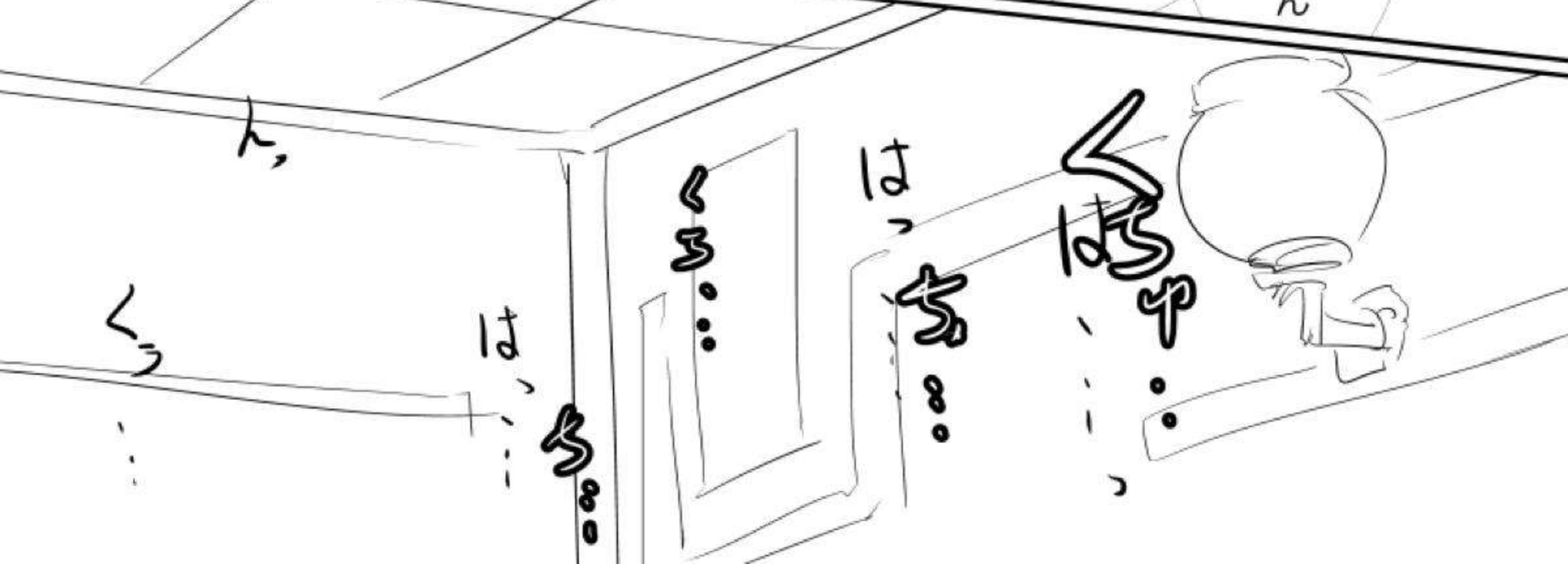


の疼いて仕方あらへん  
のやろ？  
どんな顔して  
喘ぐか  
楽しみやで

く…っ！

ん

ん



く  
はーっ

はーっ

く…

はーっ

く



嫌なら別に  
やめても  
ええんやで？

ふ、ふ、ふ

無理強いは  
良う無いって  
言うやんかあ？

そこから  
退くだけで  
やめにしたる

うる、さい……！

ふ、ふ

ふ、ふ











まだやな

もっと素直に  
したるわ

ひっ...!?



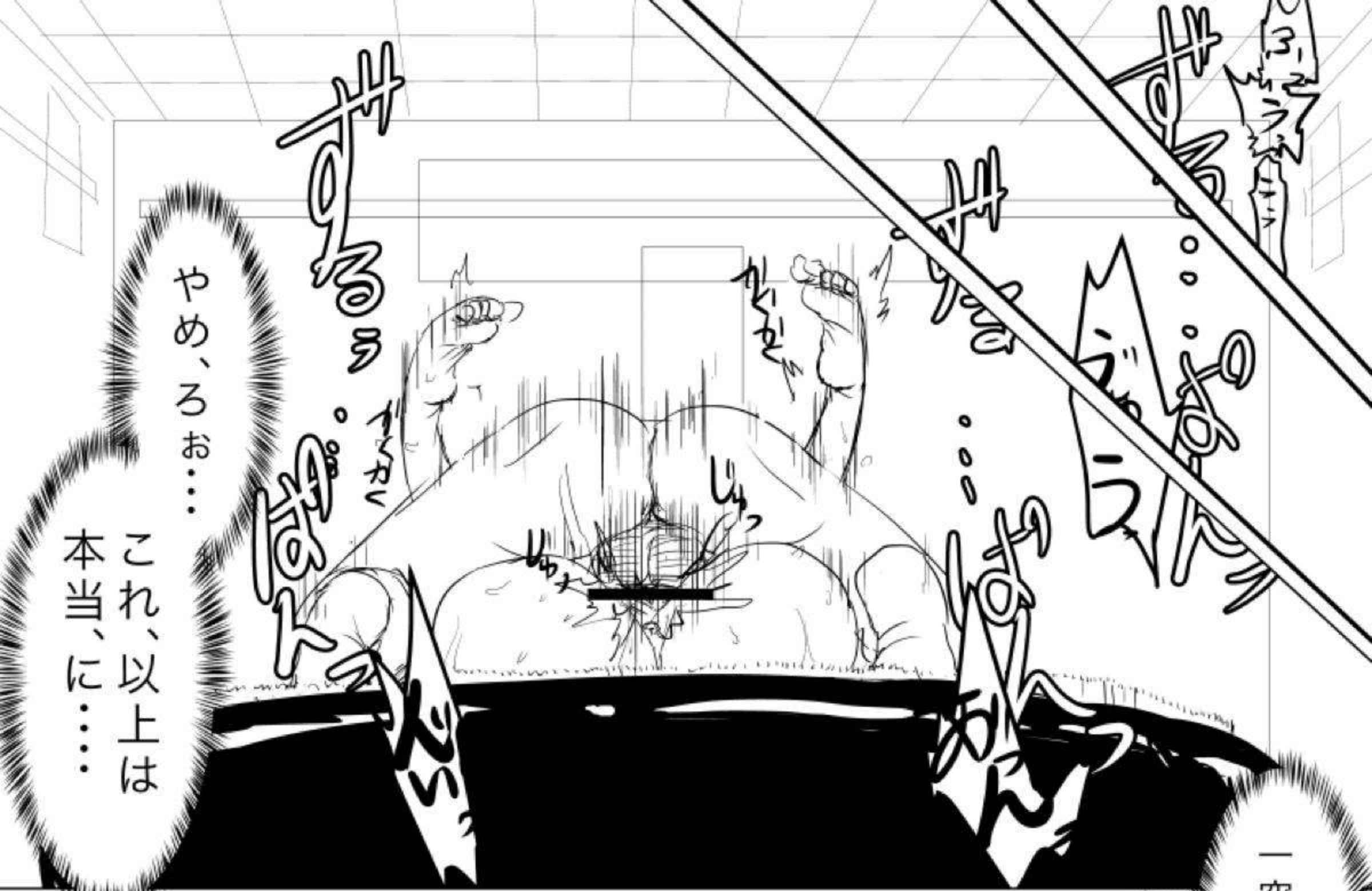












やめ、ろお...

これ、以上は  
本当に...

一突きで、トぶ



掻き回され...たら  
...もう...  
わっちが、もう...



壊れて、壊れて  
しまいいん...す...!















濃いのが  
奥まで  
行ったなあ

ぬるぬる

びん

びん、

ほな、  
最後の仕上げや

是理ん中で、  
たあっぷり  
可愛がったる

あ……あ……

びん

あ♡





…何、じゃったか…

ぼー…と、する

この…なか…  
入るん…  
じゃった、か…

…ああ、一つ、  
思い出したで、  
ありんす

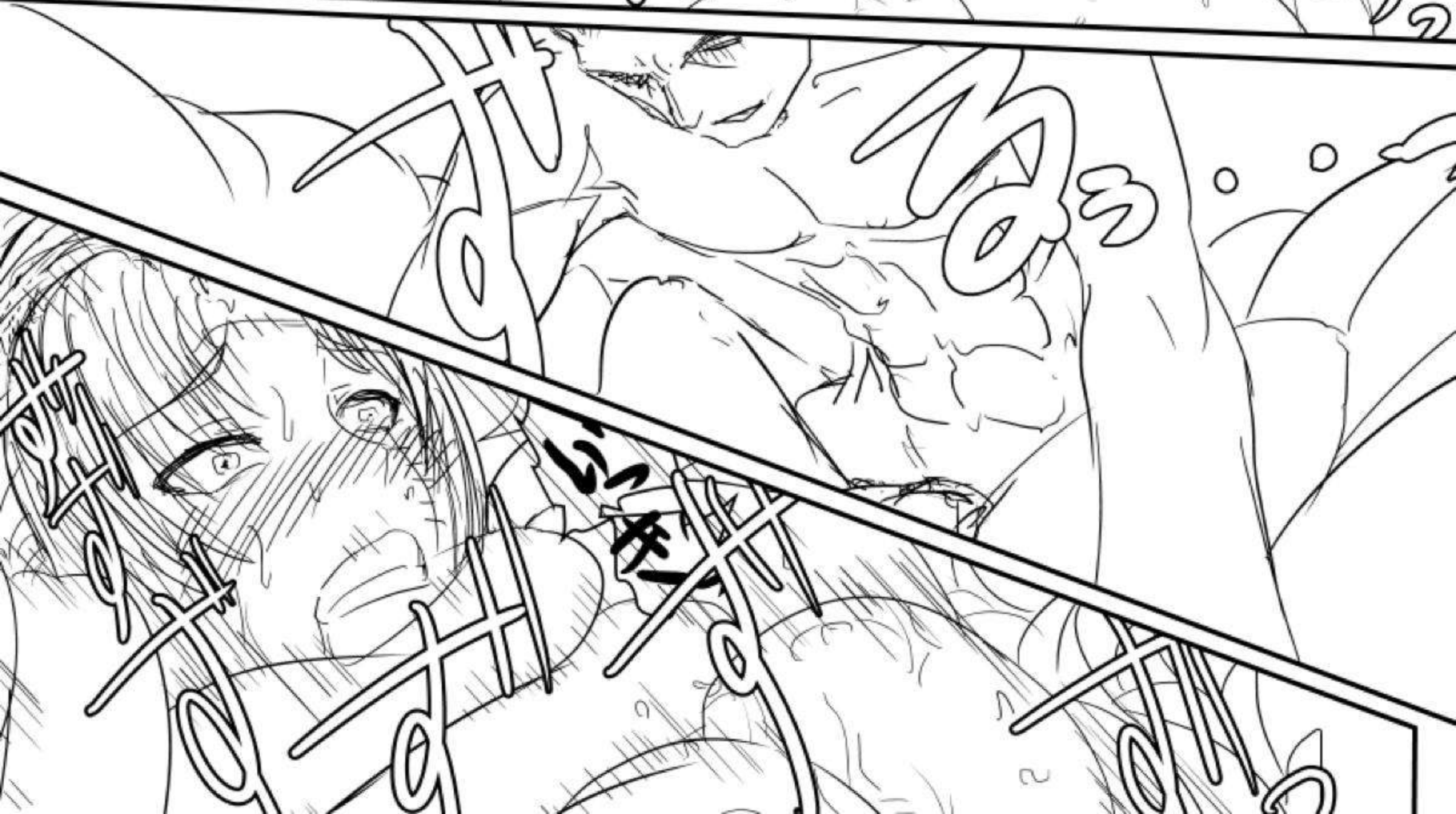
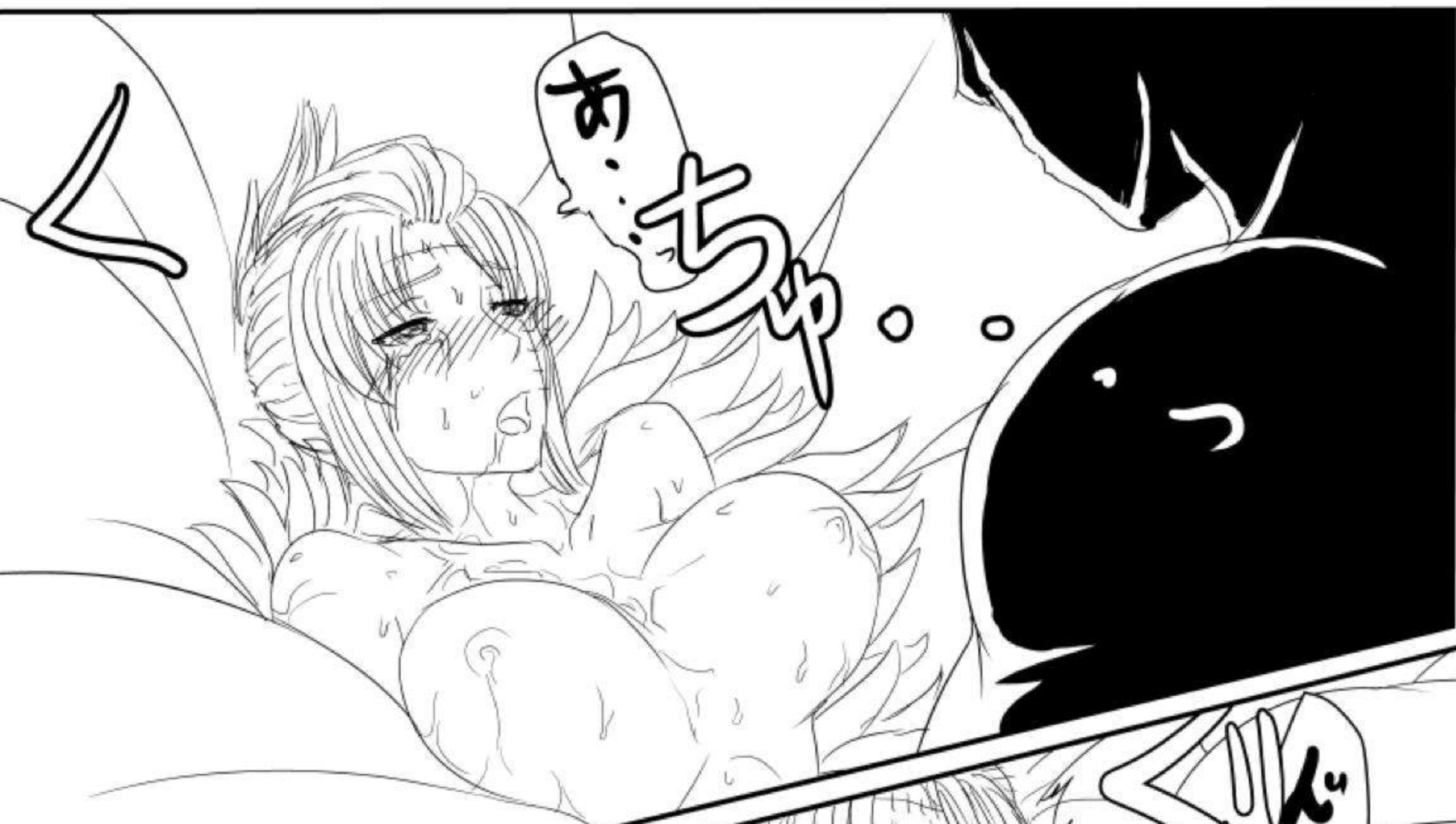
身体が、ここに、  
入りたがっている

ほかは…  
駄目…じゃ  
考え、られ…ん

もう、いいで、  
ありんす…





















#02...#0...#0...





## ・あとかぎ

本作品をご覧頂きありがとうございます。  
当バージョンは練習用に創られた状態です。  
有料配布・配信はしておりません。

なお、有料配布の予定は現在ありません。  
有料化にあたっては別途アナウンスされます。  
本作品はPixivにて無料公開されております。

サークル: ぐえいんぱーそん

作者: GIO

HP: Pixiv



あつ...

あつ...

は

あづ...

あづ...

あづ...

兄貴

あの万事屋、  
その女の事、まだ  
探してるそうで

健気やお

そない  
思われてるなんて  
幸せ者やで

あづ...

あづ...

あづ...

あづ...

あづ...

あづ...



あづ...

あづ...

あづ...

あづ...

あづ...

やけど、ちっと  
遅かったなあ











三人目ん時い  
万事屋んトコ  
連れて行ったなあ

あん時の顔が  
最高やったで



ボテ腹種付けシヨウで  
してやったつけのう

丁度  
こんな風になあ！











あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー

あーあーあー



これで  
五人目や

胎は十分  
拡がつたさかい

はっ、  
ほおおお、  
ほおおお、

姐さんの  
「繭」にするぞ

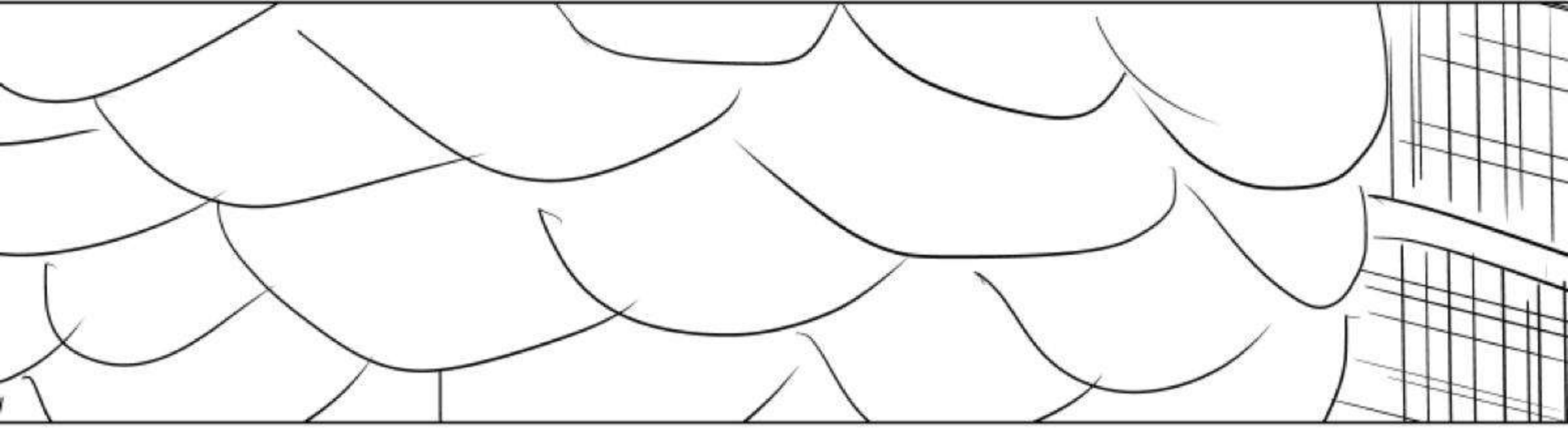
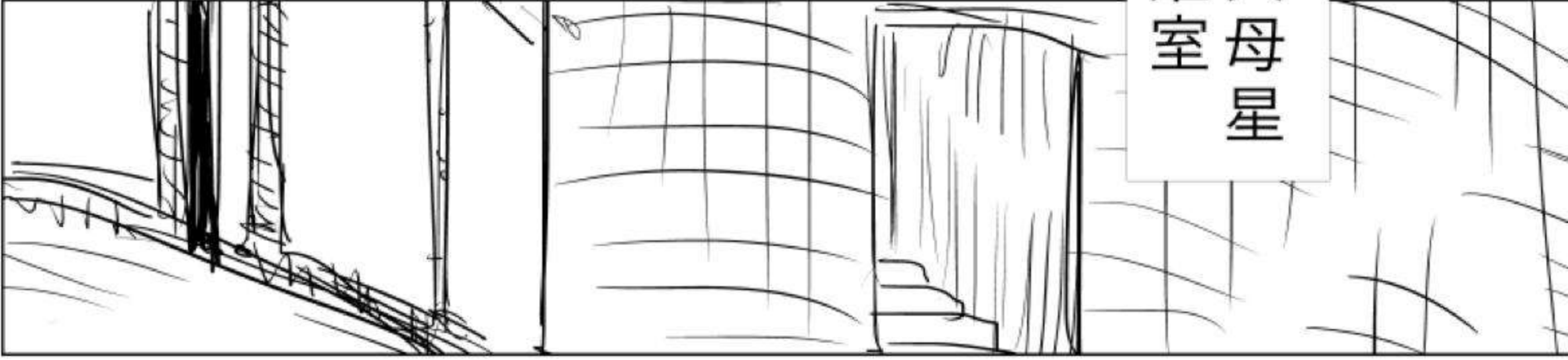
準備しーぞ





数日後

蜂型天人母星  
地下繁殖室















数日後、生きた寝具は  
遂に、月詠を、  
サナギへ変える為  
取り込んだ

彼女の中へ、触手が  
深く潜り込み、  
身体を固定し、  
作り替える。

栄養が子宮へ  
注ぎ込まれる度、  
腹は内側から  
蹴りあげられた。

悦ぶ身体は  
刻一刻と  
彼女の理性を  
引き千切っていく。

しかし、  
それでも、  
月詠は

「あっ♡…ああっ♡  
もっ…とお♡  
奥に…来て…  
…くりやれえ♡」

一際長く、高く、  
嬌声が響いた。

体内で彼女と  
苗床が融合したのだ

彼女がサナギの一部となり、  
分離する術が無くなった証だ。

こうして、  
また一人の女が、  
苗床に堕ちたのだ。



サークル:  
づえいんぱーそん

**FOR ADULT ONLY**